

平成 15 年 1 月 7 日

(社)化学工学会東北支部会員 各位
共催団体会員 各位

(社)化学工学会東北支部
支部長 菅原 拓男

第 5 回化学工学会東北支部講習会
「明日を切り開く水素エネルギー・マネージメント」
開催のご案内と参加のお願い

拝啓

酷寒の候謹んで新春をお祝い申し上げます。

さて、本年度は下記の主旨のもと、「明日を切り開く水素エネルギー・マネージメント」のテーマで講習会を開催いたします。**参加をご希望の方は 1 月 27 日(月)まで**に下記申込先までお申し込み下さい。お誘い合わせの上、奮ってのご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

主催：(社)化学工学会東北支部

後援：東北経済産業局

共催：青森化学工学懇話会、秋田化学工学懇話会、岩手化学工学懇話会、山形化学工学懇話会、宮城化学工学懇話会、福島化学工学懇話会、(社)日本伝熱学会東北支部、東北伝熱懇話会

主旨： 水素エネルギーは、近未来に魅力的なエネルギー・キャリアーになるとして、我が国を含め世界各国で積極的な研究開発が行われています。一方、エネルギー・マネージメントは、エネルギーの安定供給と省エネルギー・省コストを両立させる手法であると言われていています。これらのいずれの終局目標も、地球規模の環境保全に有効な技術として展開することにあります。そこで、今回の講習会では、具体的なトピックスとして、将来の水素供給基地、宇宙開発における水素利用のノウハウの活用、最先端の水素貯蔵技術の動向、水電解/燃料電池可逆セル・スタックを利用したオン・サイト型電力負荷平準化の将来を取り上げてご講演いただき、今後の水素関連研究の方向性を本技術に関心を持つより多くの企業関係者や研究者・学生がより深く理解することにより、地域における新たな産業や技術の創出を目指すべく、下記の要領で講習会を行います。

日時：平成 15 年 1 月 29 日(水) 13:00～17:15

場所：東北大学工学部化学・バイオ系中講義室、別添地図をご参照下さい。

プログラム：

- 13:00～14:00 講演(1) 「燃料電池車の水素ステーション」
岩谷産業(株) ガス技術部 建元 章 部長
- 14:00～15:00 講演(2) 「液化水素と宇宙開発」
宇宙開発事業団 角田ロケット開発センター 平田 邦夫 所長
- 15:00～15:15 休憩
- 15:15～16:15 講演(3) 「次世代水素貯蔵材料の開発」
東北大学 金属材料研究所 折茂 慎一 助教授
- 16:15～17:15 講演(4) 「水素の多角的機能を活用したエネルギー・マネージメント」
高砂熱学工業(株) 総合研究所 小澤 由行 参与

参加費(資料代)：正会員・共催学協会関係者：1000 円、学生：500 円、非会員：2000 円(資料を希望しない場合は無料)

申込方法：E-mail または Fax にて、1)参加者氏名、2)会員種別、3)資料購入の有無、4)勤務先、5)連絡先(住所、Fax、E-mail)を明記の上、下記までお申込み下さい。

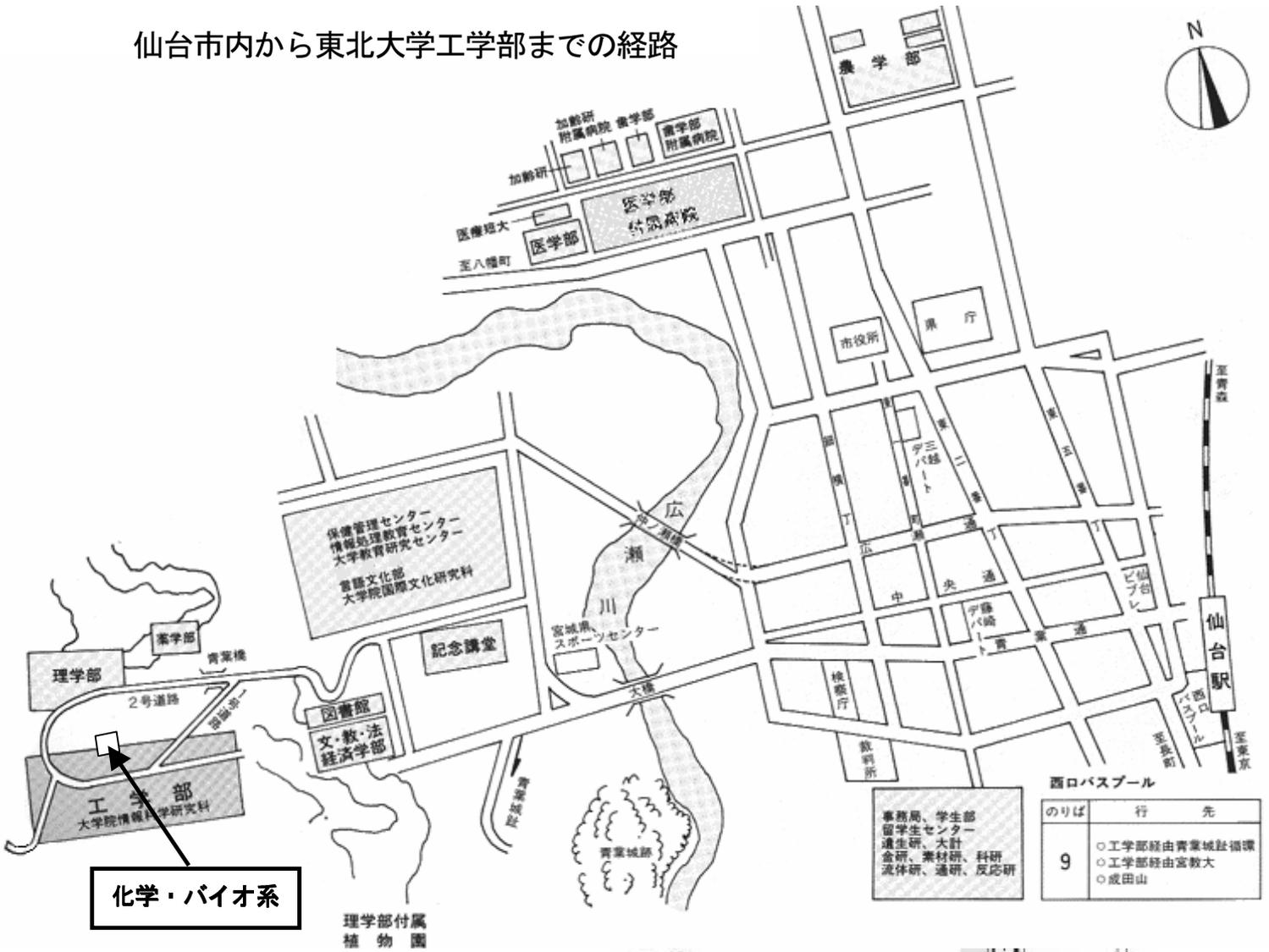
申込先：〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 07

東北大学工学部化学・バイオ系内 化学工学会東北支部事務局

TEL&FAX：022-712-0887、E-mail：shibata@pse.che.tohoku.ac.jp

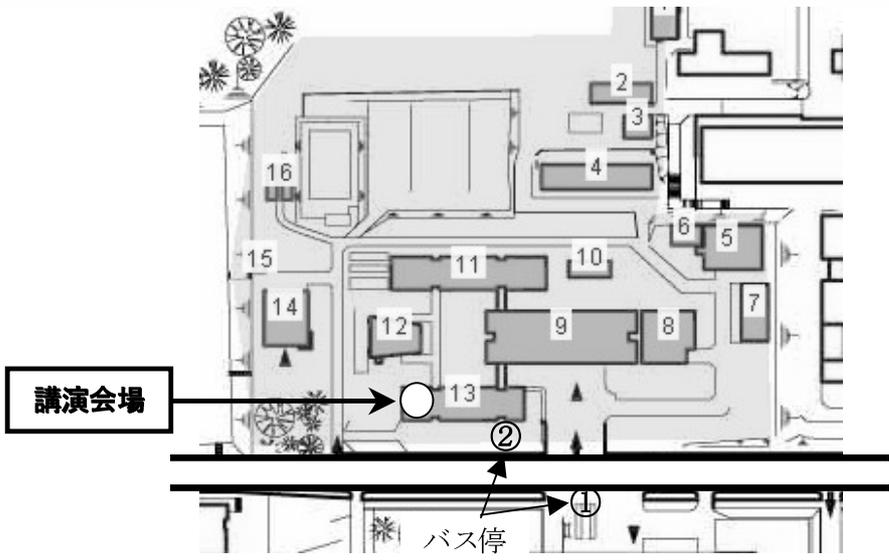
講習会内容の問合せ先：幹事 青木秀之：TEL：022-217-7251、E-mail：aoki@tranpo.che.tohoku.ac.jp

仙台市内から東北大学工学部までの経路



化学・バイオ系

西口バスプール		
のりば	行	先
9	○	工学部經由青葉城址循環
	○	工学部經由宮教大
	○	成田山



化学・バイオ系までの経路

- JR 仙台駅西口バスプール9 番乗り場から
 - 工学部經由 宮教大、青葉台、成田山行に乗車し応用化学科前①下車
 - 理学部・工学部經由青葉城址循環、西の平行に乗車し応用化学科前②下車
 - (20分程度、220円)
- JR 仙台駅西口タクシー乗り場から乗車(10~15分、1500円程度)